

令和5年度 第5回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和5年5月22日(月) 11:00~12:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：8名

埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、伊藤ゆり(大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授)、東尚弘(東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授)、井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士)

欠 席：1名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)

陪 席：1名

西佐和子(琉大病院がんセンター事務)

【報告事項】

1. 令和5年度 第4回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料1に基づき令和5年度第4回ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. その他

【協議事項】

1. 沖縄県がん計画(協議会案)のロジックモデルの修正

増田部会長より、資料2に基づき説明があり、委員に各分野のロジックモデルについて意見を求めた。

<がんの予防>

埴岡委員より、①生活習慣(喫煙)の分野アウトカム「がんの死亡率が減少できている」について、胃がんはほっといても減少している。大きく減っているがんも増えているがんもある中で、減少できているという表現の他に適切な表現はないかという意見があった。

伊藤委員より、井岡先生が指標に入れていた年平均変化率がそういう表現だと思われる。がん種によって違うため、沖縄県の動向をみて指標でさらに増えている状況を鈍化させる等の設定をしないとよいのではないかと意見があった。

埴岡委員より、トレンドラインを下げるというような表現をうまくどういれるかだという意見があった。

増田部会長より、がん種によって分野アウトカムをわけるか検討すると回答があった。

<がん検診>

伊藤委員より、①科学的根拠に基づくがん検診の実施についての分野アウトカムについて、国では進行がん罹患率が入っていたが、早期がん割合にまとめることになるのかと質問があった。どちらかという、早期がん割合は過剰診断に余分に反応してしまうため、進行がんは罹患率が下がる方がよい。がん種によって罹患率は早期であっても下がっていくもので、がん種を分けて罹患率をみていく方がよいのではないか。罹患率が下がって最終アウトカムに全部のがんの死亡率の減少が出てくるため、分野アウトカムに罹患率でよいのではという意見があった。

東委員より、早期がんの割合自体が水物系の指標のため、なるべく使わない方がよいのではないか。早期がん割合を省くか、もしくは進行がん罹患率にする。分野アウトカムは死亡率でもかまわない。進行がんが減少すれば死亡率も減少するという意味で順番としてはおかしくないという意見があった。

有賀委員より、進行がん罹患率割合を中間アウトカムにして、がんの死亡の減少の分野アウトカムをそのままにするというのはどうかと意見があった。

<がん医療提供体制>

東委員より、個別施策①-1 医療の集約化と①-6 連携を行う、セカンドオピニオンに関しては患者における医療に関わるかもしれないが、それ以外については、医療の質が上がるわけではないため再検討が必要であるという意見があった。

埴岡委員より、中間アウトカムの語尾が「医療者が提供できている」となっているが「患者が受けられている」という表現が良いと意見があった。

<緩和・支持療法>

埴岡委員より、最終アウトカムから中間アウトカムはきれいだと思うが、個別施策や重要施策がもれていないか。組織化した緩和ケアとは何かというところは、次の計画の段階で示す必要があると理解している。骨組みはよいと意見があった。

増田部会長より、先日の緩和ケア在宅医療部会で議論しており意見を求めている。協議会としてのロジックモデルと6年前に県に提出した提案書でのロジックモデルの中から5つ程度選ぶことになっており回答待ちであると説明があった。また、6年前に提出した緩和ケアのロジックモデルの資料を共有し説明があった。

埴岡委員より、個別施策が増えすぎてもよくないので、重点施策を決める方がよいと

意見があった。

<個別のがん対策>

井岡委員より、難治がんと希少がんは重複するため、希少がんだけで良いのではないか。シンプルな方がよいので余計なものは書かない方がよいのではという意見があった。

<全体を通して>

埴岡委員より、施策が細分化する問題について、原則としてはプロジェクト単位にするとよいのではという意見があった。

2. 今後のスケジュール協議

増田部会長より、修正したロジックモデルをメールで送りますので、5/26（金）17時までに確認していただきたいと委員へ依頼があった。その後、さらに修正したロジックモデルを県に一旦、提出する予定であると報告があった。

3. その他

特になし